

# 同志社大学

## 2011年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2012年 3月 31日提出

所属	職名	氏名
経済学部	教授	竹 廣 良 司
研究題目	多角的事業展開と企業規模	
研究成果の概要	<p>2011年度は企業が行う多角的事業展開と企業規模の関係に留意して分析を行うことを課題として設定した。本研究では日経財務データ等の企業データを用い、実証分析を行うことを目的とし、企業グループに属する個々の企業（グループ企業）の行動がガバナンスの違いによりどのような影響を受けるのかについても分析を行おうとしている。</p> <p>本研究では企業規模の差異が現実の多角的系事業展開にどのような影響を与えるのかにも着目しながら分析し、多角的事業の展開が分社化を通じていかに行われるかを探ることで、これまで行ってきた企業グループに関する研究の一環として位置付け体系的なファクトを見出そうとしている。</p> <p>産業シフトやシナジー効果の利用という意味において企業経営の多角化は重要であるが、その目的により組織的な実施スタイルも大きく異なるものと考えられる。また企業規模による制約条件の違いも大きく影響するものと考えられる。</p> <p>本研究では企業規模の差異が現実の多角的系事業展開にどのような影響を与えるのかにも着目しながら分析を行っているが、データベースのフォーマットの変更により構築が遅れ、予定どおりの進捗には至っておらず、十分な分析結果が得られているとはいえない。次年度課題である「ブランディング戦略と多角的事業展開」を進める中で、今年度の課題である企業規模との関わりについても併せて明らかにしたいと考えている。</p>	